

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	フラワーデザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	通年	時間数	225		単位数 7.5
授業概要	初めて切り花を扱うことを前提とし、切り花の仕組みや取り扱い方・デザインを行うための道具やその使用方法・基本形について学ぶ。基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	切り花の正しい取り扱い方・水揚げ方法、道具の正しい使い方を身に付けること、スパイラルテクニックやアレンジの基本形の制作技術を身に付けることを目標とする。		
担当教員 プロフィール	小池智子	本校卒業生であり生花店、レストランウェディングフラワー部門での勤務経験をもつ。在学当時から磨いてきた基礎技術や資格を活かし、即戦力となるフローリスト養成に向けた授業を展開する。			
	高野真樹子	本校卒業生であり生花店での勤務経験をもつ。現在も学校付属の実習店舗スタッフとして勤務。その経験をもとに、基本知識・技術の指導とフローリストとしての心得を指導。			
	野部茜	本校卒業生であり園芸店での勤務経験を持つ。フラワーデザインの基本を身に付けており、講師の助手として学生のフォローにあたる。			
テキスト・教材	フラワーデザイナーのための花の教科書 (NFD) 自作プリント 冠婚葬祭マナー事典				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート10% 実技85% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 5%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	フラワーデザイン概論①	授業の流れについて説明 フラワーデザインの歴史と概要 道具・資材類の説明	小池・高野 講義
2	資材類の基礎テクニック	ナイフの使い方・ワイリング・テピング方法の習得	小池・高野 講義・演習
3	切り花の取り扱い方①	植物のしくみと水揚げの原理 花束ラッピング	小池・高野 講義・演習
4	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野 演習
5	アレンジメント	クラシック 立体構成 ドーム	小池・高野 演習
6	フラワーデザイン概論② 切り花の取り扱い方②	多種類の花材の形態と水揚げ方法の習得 切り花の種類・日持ち・出回り時期・特徴について	小池・高野 講義
7	花束・アレンジメント	スパイラルテクニックの習得 ラウンド クラシック 立体構成 ドーム復習	小池・高野 演習
8	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野 演習
9	アレンジメント	クラシック 立体構成 コウン	小池・高野 演習
10	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野 演習
11	アレンジメント	クラシック 立体構成 ホリゾンタル	小池・高野 演習
12	テスト 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ラウンド クラシック 立体構成	小池・高野 演習
13	復習 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ラウンド クラシック 立体構成	小池・高野 演習
14	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野 演習
15	アレンジメント	クラシック 直線構成 トライアングラー	小池・高野 演習
16	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野 演習

17	アレンジメント	クラシック 直線構成 ファン	小池・高野 演習
18	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野 演習
19	アレンジメント	クラシック 直線構成 オーバル	小池・高野 演習
20	花束	スパイラルテクニックの復習 ワンサイド	小池・高野 演習
21	アレンジメント	クラシックスタイルの復習 直線構成	小池・高野 演習
22	テスト 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ワンサイド クラシックスタイル 直線構成	小池・高野 演習
23	花他・アレンジメント	お悔やみに関する花の知識の習得 お悔やみを意識した花束とアレンジメント	小池・高野 講義・演習
24	模擬店舗①	花束 アレンジメント	小池・高野 演習
25	模擬店舗②	夏休み前のまとめ・復習	小池・高野 演習
26	モダンスタイル	クラシックスタイルとモダンスタイルの考え方の違い	小池・高野 講義・演習
27	モダンスタイル	花束・アレンジメント パラレル フリーセンドス	小池・高野 演習
28	ブライダル装花	結婚式の花について 両親贈呈用花束	小池・高野 講義・演習
29	ブライダル装花	メイン装花 花冠	小池・高野 演習
30	ブーケ・ブートニア	ブーケについて ホルダーブーケ ラウンド ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 講義・演習
31	ブーケ・ブートニア	ワイヤリングブーケ ラウンド ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 演習
32	ブーケ・ブートニア	ホルダーブーケ キャスケード ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 演習
33	ブーケ・ブートニア	ワイヤリングブーケ キャスケード ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 演習
34	テスト メイン装花・ブーケ	ブライダル メイン装花 ホルダーブーケ ブートニア	小池・高野 演習
35	テスト ブーケ	ワイヤリングブーケ ブートニア	小池・高野 演習
36	資材の扱い方①	現場視察 松村工芸 アンナサッカ東京	小池・野部 見学
37	資材の扱い方①	現場視察 ASCA商会 ショールーム	小池・野部 見学
38	フランス人フローリスト デモンストレーション見学	フランススタイルと流行のデザイン デモンストレーション見学	セリーヌ・ジューブ 講義
39	花束	基礎型の総まとめ・総復習 (ラウンド・ワンサイド)	小池・高野 演習
40	アレンジメント	基礎型の総まとめ・総復習 (クラシック 立体構成・直線構成 ほか)	小池・高野 演習
41	模擬店舗③	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	小池・高野 講義・演習
42	模擬店舗④	花選びや色合わせを中心に学ぶ	小池・高野 演習
43	年中行事の花飾り①	クリスマスに関する知識の習得 フレッシュリース	小池・高野 講義・演習
44		クリスマス センターピースアレンジメント アドベントアレンジメント	小池・高野 演習
45	年中行事の花飾り②	お正月に関する知識の習得 お正月のギフトアレンジメント	小池・高野 講義・演習

46	年中行事の花飾り②	花束 お正月のウェルカムアレンジメント	小池・高野 演習
47	模擬店舗⑤	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	小池・高野 演習
48	模擬店舗⑥	植物の持つキャラクターを学ぶ	小池・高野 演習
49	模擬店舗⑦	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	小池・高野 演習
50	模擬店舗⑧	オーダーシートの書き方や接客方法を学ぶ	小池・高野 演習
51	資材の扱い方②	様々な資材の活用方法（東京堂・ショールーム）	株式会社 東京堂 野部 講義・演習
52		レッスン・見学・購入・ディスカッション	株式会社 東京堂 野部 講義・演習
53	テスト 模擬店舗⑨	テスト 花束	小池・高野 演習
54	テスト 模擬店舗⑩	テスト アレンジメント	小池・高野 演習
55	資材の扱い方③	東京堂で購入した資材を使用して作品制作	小池・高野 演習
56	資材の扱い方④	発表 まとめ	小池・高野 講義・演習
57	展示会见学	関東東海花の展覧会见学 (池袋サンシャインシティ)	小池・野部 見学
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	フラワーデザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	通年	時間数	240		単位数 8
授業概要	基本的な知識と技術をベースに、より実践的な装飾方法や応用技術・企画の仕方などを習得する。	到達目標	1年次に学んだ基礎技術を発展させ、お客様のご要望に沿った企画・商品制作ができるようにすることを目標とする。		
担当教員 プロフィール	小池智子 元生花店勤務 基礎技術や資格を活かし、即戦力となるフローリスト養成に向けた授業を展開。				
	花井茂 生花店経営・デザイナー 葬儀の花、店頭での商品制作など実践に基づいた技術指導を行う。				
	今野亮平 ギフト商品販売会社経営 ディスプレイ装飾の実践や特殊資材を用いた商品の制作技術を指導。				
	武田千菜 ドイツで学び、生花店勤務経験で得たドイツデザインの基本を、理論と実践で指導。				
	(株)東京堂 所属デザイナーによる造花など自社製品を使った作品のデモと商品企画のノウハウを指導。				
	熊谷佳子 パーソナルカラー診断の実践経験をもとに、個人の個性と花の色合わせを、理論と実践で指導。				
	峰岸喬 生花店経営・フローリスト 大手結婚式場に長年勤務した経験を活かし、実践に基づいた技術指導。				
	レン・オークメイド 国内外で数々のデモ・イベント装飾を行うオランダマスターフローリストが、デザイン技術を実践指導。				
セリーヌ・ジューブ 国内外で数々のデモ、フランス古城装飾を行うフランス国家が認めたデザイナーによる実践指導。					
高野真樹子 実習店舗や生花店での販売員の経験をもとに、売れる商品づくりの企画デザインを指導。					
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート10% 実技85% 発表0% その他（出席率・授業態度など）5%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。	

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	基礎復習①	花材別水揚げ方法の復習・花束	小池 演習
2	基礎復習②	アレンジメント・ラッピング	小池 演習
3	パーソナルカラー①	パーソナルカラーを意識した花合わせ・色合わせ	熊谷 講義・演習
4	パーソナルカラー②	用途に合わせた花束・アレンジメント	熊谷 演習
5	模擬店舗①	予算・用途に合わせた花束	花井 演習
6	模擬店舗②	予算・用途に合わせた花束・アレンジメント	花井 演習
7	ヨーロッパデザイン①	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習
8	ヨーロッパデザイン②	ドイツデザインの基本的理論	武田 演習
9	ヨーロッパデザイン③	ドイツデザインの基本的理論	武田 演習
10	ヨーロッパデザイン④	ドイツデザインの基本的理論	武田 演習
11	基礎復習③	オールラウンドアレンジメント・花束・ラッピング	小池 演習
12	基礎復習④	ワンサイドアレンジメント・花束・ラッピング	小池 演習
13	商品制作①	プリザーブドフラワーの取り扱い方	今野 講義・演習

14	商品制作②	ブリザーブドフラワー作品制作	今野 演習
15	基礎復習⑤	ブーケの基礎復習 ホルダーブーケ・ブートニア	小池 演習
16	基礎復習⑥	ワイヤリングの基礎復習 ワイヤリングブーケ・ブートニア	小池 演習
17	空間装飾の仕事①	空間装飾・ディスプレイの仕事	今野 講義
18	空間装飾の仕事②	グループワークによる空間装飾	今野 演習
19	デザインの発想と構築①	説明・トレーニング	小池 講義
20	デザインの発想と構築②	トレーニング	小池 講義
21	基礎テスト①	花束・アレンジメント	小池 演習
22	基礎テスト②	ブーケの基礎テスト ホルダーブーケ・ブートニア	小池 演習
23	模擬店舗③	花束 アレンジメント	小池 演習
24	模擬店舗④	夏休み前のまとめ・復習	小池 演習
25	活け込み実習①	活け込み実習について説明・現場下見 (協力：御茶ノ水ホテルじゅらく)	小池 講義
26	活け込み実習②	グループに分かれてデザイン考案	小池 講義
27	デザインの発想と構築③	思考	小池 講義
28	デザインの発想と構築④	発注	小池 講義
29	活け込み実習③	デザイン考案・完成	小池 講義
30	パーソナルカラー③	パーソナルカラーを意識した花合わせ・色合わせ	熊谷 講義・演習
31	パーソナルカラー④	4つのコサージュ (春夏秋冬)	熊谷 演習
32	デザインの発想と構築⑤	実技 (形にする)	小池 演習
33	デザインの発想と構築⑥	発表 (プレゼンボード)	小池 講義・演習
34	資材類の扱い方①	様々な資材の扱い方 レッスン	東京堂 講義・演習
35	資材類の扱い方②	店内見学・資材購入・ディスカッション	東京堂 見学・演習
36	お祝い花①	お祝いの贈り花の種類と注意点 スタンド花制作	花井 講義・演習
37	お祝い花②	スタンド花 アレンジメント (札入り) 花束	花井 演習
38	商品制作③	東京堂で購入した資材類を使用したグループワーク	小池 演習
39	活け込み実習④	プレゼンテーション準備	小池 講義
40	フランス人フローリストによる ワークショップDay	フランススタイルと流行のデザイン デモンストレーション見学	セリーヌ・ジューブ 講義
41		個人での作品制作 発想を学ぶ	セリーヌ・ジューブ 演習
42	活け込み実習⑤	活け込み先ホテルに向けプレゼンテーション	小池 講義

43	活け込み実習⑥	プレゼンテーションにて選ばれたデザインの花材・資材発注	小池 演習
44	ヨーロッパデザインテクニック①	ダッチスタイルと流行のデザイン デモンストレーション見学	レン・オークメイド 講義
45	ヨーロッパデザインテクニック②	多種の資材類を使った作品作り 発想を学ぶ	レン・オークメイド 演習
46	活け込み実習⑦	活け込み装飾作品 制作	小池 演習
47	活け込み実習⑧	活け込み装飾作品 納品	小池 演習
48	活け込み実習⑨	活け込み装飾作品 メンテナンス	小池 演習
49	ウィンドウディスプレイ①	クリスマス装飾・お正月装飾	小池 演習
50	ウィンドウディスプレイ②	クリスマス装飾・お正月装飾	小池 演習
51	活け込み実習⑩	活け込み装飾作品 撤去・反省会	小池 演習
52	日本人フローリストによる ワークショップDay	デモンストレーション見学 ディスカッション	峰岸 講義・演習
53		個人での作品制作 講評	峰岸 演習・講義
54	模擬店舗⑤	用途に合わせた花束・アレンジメント	小池 演習
55	模擬店舗⑥	用途に合わせた花束・アレンジメント	小池 演習
56	模擬店舗⑦	ショップ・客層に合わせた接客と商品制作	小池 演習
57	模擬店舗⑧	ショップ・客層に合わせた接客と商品制作	小池 演習
58	模擬店舗⑨	テスト：用途に合わせた花束・アレンジメント	小池 演習
59	模擬店舗⑩	テスト：用途に合わせた花束・アレンジメント	小池 演習
60	模擬店舗（総まとめ）	2年間の総まとめ	小池 演習
他教科との関連 フラワービジネス ブライダルフラワー		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	フラワービジネス		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 フラワーデザインコース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	通年	時間数	90	単位数	3
授業概要	花き園芸ビジネスに必要な接客技術やマナーをはじめ、包装技術や商品陳列など、販売促進につながる技術の基礎を学ぶ。	到達目標	接客に際しては、お客様に不快感を与えない接客を。包装技術は、プロの販売員として恥ずかしくない包装を。商品陳列などの販売促進技術は、確実な効果のみられるものをそれぞれ目指す。		
担当教員プロフィール	水本寿美江 国内外の生花店などで販売員として勤務した経験があり、その実務経験に基づいてフローリスト養成に向けた授業を展開。 高野真樹子 生花店での勤務経験をもとに、売れる商品づくりの基礎を指導。現在も学校付属の実習店舗スタッフとして実務を行う。 鎌倉令子 POP広告クリエイターとして活動。POP広告制作や商品ディスプレイの実務経験をもとに、フラワーショップでの効果的な販売促進テクニックを指導する。				
テキスト・教材	フラワーデザイナーのための花の教科書 自作プリント 手描きPOP広告基本マニュアル 販売技術 水揚げ&花のケア				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験80% レポート0% 実技20% 発表0% その他(出席率・授業態度など)0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ビジネス概論① ビジネス概論②	接客マナーの基本について 心構え 冠婚葬祭と植物の関わり	水本 講義
2	ラッピングの種類と技術①	リボンワーク 花束ラッピング (1本包み)	水本・高野 演習
3	ビジネス概論③-1	暮らしの歳時記と植物の関わり (接客マナーに関する課題)	水本 講義
4	ラッピングの種類と技術②	リボンワーク復習 花束ラッピング (筒包み・合わせ包み)	水本・高野 演習
5	ビジネス概論③-2	暮らしの歳時記と植物の関わり (接客マナーに関する課題)	水本 講義
6	ビジネス概論④	花贈りのマナーとポイント	水本 講義
7	商品管理と陳列	商品管理の基本と陳列 (切花・鉢物・苗物)	水本 講義
8	ビジネス概論⑤	販売業務の基本について	水本 講義
9	ラッピングの種類と技術③	鉢物ラッピング 箱詰め梱包作業と宅配・配送について	水本・高野 演習
10	テスト①	品種名テスト・植物150種水揚げ方法テスト	水本 講義
11	POP広告①	POP広告とは? POP文字の書き方を学ぶ	鎌倉 講義・演習
12	POP広告②	POP文字の書き方の復習 プライスカードの制作手順を学ぶ	鎌倉 講義・演習
13	POP広告③	ブラックボードPOPの役割 手描きPOP制作	鎌倉 講義・演習
14	POP広告④	商品ディスプレイにおけるPOPの役割 まとめ	鎌倉 講義・演習
15	ショップ研究①	リサーチ方法説明 各グループごとにリサーチ場所検討	水本 講義・演習
16	ショップ研究②	リサーチ場所決定・各自リサーチ	水本 講義・演習
17	ショップ研究③	各自リサーチ・レポート制作	水本 講義・演習
18	ショップ研究④	各グループごとにディスカッション 発表・レポート提出	水本 講義・演習
19	商品制作 クリスマス①	ドライ素材・プリザーブドフラワーを使用した クリスマス向け作品の制作	高野 演習
20	商品制作 クリスマス②	実習店舗で販売するためのクリスマス商品の制作	高野 演習
21	商品制作 お正月①	アーティフィシャルフラワーを使用した お正月向け作品の制作	高野 演習
22	商品制作 お正月②	実習店舗で販売するためのお正月商品の制作	高野 演習
23	テスト②	品種名テスト・植物150種水揚げ方法テスト	水本 講義
他教科との関連	フラワーデザイン インターンシップ	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	フラワービジネス		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	通年	時間数	90時間	単位数	3
授業概要	園芸実務に必要な接客技術やマナーをはじめ、包装技術など販売促進に繋がる技術の応用を学ぶ。また、花業界に関わりのある様々な仕事に就いている先生の話や卒業生の体験談を聞き、フラワーショップや園芸店の経営の要点や実際を学ぶ。		到達目標	生花店運営における実務内容の理解度を深め、実習・演習を通してマーケティングの視点からフラワービジネスを理解することを目標とする。	
担当教員プロフィール	武田千葉 元大手生花店・本校実習店舗での勤務経験から販売員として必要な接客マナーと技術を指導 水本寿美江 元生花店勤務の経験から、商品管理、陳列など実践に基づいた授業展開を行う 佐貫一恵 元大手生花店勤務 本校実習店舗チーフとして、豊富な経験をもとに学生の実習指導にあたる 高野真樹子 本校卒業生で元生花店販売員 本校実習店舗にて接客や商品制作の指導にあたる 空垣内真弓 本校卒業生で元園芸店販売員 本校実習店舗にて園芸を中心とした作業や接客の指導にあたる 花井茂 生花店経営者 フローリストに求められる素養・技術・資格などについて講義する 佐々木久満 生花店経営者 店舗運営、新店舗・新規事業拡大、など経営の実態について講義する 藤井大 仲卸会社勤務 生花・園芸仲卸の仕事について、生産者や小売店との関わりについて講義する 所奈津美 元大手生花店勤務 全国チェーンの店舗展開の生花店の仕事、経営の実態について講義する 草柳智一 園芸資材商社勤務 資材卸売業の仕事内容と小売店との結びつきについて講義する 川本幸代 カフェを併設した生花店を運営 花カフェの魅力とその経営の実態について講義する				
テキスト・教材	自作プリント 園芸ビジネス 冠婚葬祭マナー事典				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験65% レポート0% 実技35% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ショップ経営① ショップ経営②	花き仲卸業の役割とは 全国チェーンの生花店の経営の実際	藤井（1コマ）講義 所（1コマ）講義
2	ショップ経営③	生花店経営の実際①（運営の基本）	花井 講義
3	ショップ経営④	生花店経営の実際②（都市部と地方の違い）	佐々木 講義
4	ショップ経営⑤ ショップ経営⑥	問屋の仕事・資材について 流行のフラワーカフェの経営の実際	草柳（1コマ）講義 川本（1コマ）講義
5	園芸ビジネス 包装の種類と技術①	接客マナーの復習 花束制作とラッピングバリエーション実践	武田 講義・演習
6	園芸ビジネス 包装の種類と技術②	接客マナーの復習 アレンジ制作とラッピングバリエーション実践	武田 講義・演習
7	園芸ビジネス 包装の種類と技術③	接客マナーの復習 鉢物ラッピングバリエーションと宅配梱包作業実践	武田 講義・演習
8	園芸ビジネス 復習	接客サービスと商品管理・花贈りのマナーの基本 1年次の復習とチェックテスト	水本 講義 AM：後半 PM：前半
9	品種名テスト 第1回 水揚げ150種テスト 第1回	バラ60種・カーネーション20種・ガーベラ20種以上 植物名・科名・日持ち・出回り時期・水揚げ方法 525点以上	水本 講義
10	店舗設計	フラワービジネスのマーケティング 売れるショップ作り	水本 講義
11	店舗設計	フラワービジネスのマーケティング 売れるショップ作り	水本 講義
12	プリザーブドフラワー商品制作①	説明・企画	高野 講義
13	プリザーブドフラワー商品制作②	企画	高野 講義
14	プリザーブドフラワー商品制作③	材料購入	高野 講義
15	プリザーブドフラワー商品制作④	制作	高野 演習
16	プリザーブドフラワー商品制作⑤	制作	高野 演習
17	プリザーブドフラワー商品制作⑥	まとめ	高野 講義
18	品種名テスト 第2回 水揚げ150種テスト 第2回	バラ60種・カーネーション20種・ガーベラ20種以上 植物名・科名・日持ち・出回り時期・水揚げ方法 525点以上	水本 講義
19	店舗実習①	実習店舗で実務を行う（3コマ270分授業）	佐貫・高野・空垣内 実習
20	店舗実習②	実習店舗で実務を行う（3コマ270分授業）	佐貫・高野・空垣内 実習
21	店舗実習③	実習店舗で実務を行う（3コマ270分授業）	佐貫・高野・空垣内 実習
他教科との関連	フラワーデザイン インターンシップ	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回（2コマ）180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	園芸実習		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース A	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	通年		時間数	120	単位数 4
授業概要	学校のベランダやエントランス、三井住友海上(MSK)本社前花壇や屋上菜園を実習場所とし、花壇作成・メンテナンスなどの作業を通して園芸用具の使い方や土づくりなどの知識と技術の習得を目指す。	到達目標	園芸作業を実践することにより、植物の栽培作業方法の基本を理解できるようにすることを目指す。		
担当教員プロフィール	鈴木靖子 元園芸用薬品類製造販売会社勤務。現在はフリーランスで、一般園芸愛好家への園芸指導や個人宅のガーデン施工を行っている。その経験をもとに、花壇施工、寄せ植え制作など実践指導する。 高山徹也 本校卒業生。卒業後、園芸店などで実務経験を積んだ後、ガーデニングショップをオープン。数多くの植栽・ガーデニング工事を手掛けた経験から、より実践的な内容で授業展開を行う。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技90% 発表0% その他(出席率・授業態度など) 10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

回	指導項目	指導内容	備考
1	大型コンテナ①-1	春のコンテナ(店舗前) 企画	鈴木 講義
2	花壇植栽管理①	MSKメンテナンス	鈴木 演習
3	大型コンテナ①-2	春のコンテナ(店舗前) 制作	鈴木 演習
4	花壇植栽管理②	MSK 春の花壇づくり	鈴木 演習
5	花壇植栽管理③	MSKメンテナンス	鈴木 演習
6	花壇植栽管理④	MSKメンテナンス	鈴木 演習
7	花壇植栽管理⑤	MSKメンテナンス	鈴木 演習
8	大型コンテナ②-1	夏のコンテナ(店舗前) 企画	鈴木 講義
9	花壇植栽管理⑥	MSK 夏の花壇づくり	鈴木 演習
10	大型コンテナ②-2	夏のコンテナ(店舗前) 制作	鈴木 演習
11	ベランダガーデニング①	ベランダガーデニングとは	高山 講義
12	ベランダガーデニング②	メンテナンス作業とテクニック①	高山 演習
13	ベランダガーデニング③	秋のベランダ植栽計画	高山 講義
14	ベランダガーデニング④	秋のベランダ植え替え実習	高山 演習
15	ベランダガーデニング⑤	草花選びと培養土について	高山 講義
16	見学	ギフトショー見学	常勤職員 見学
17	ベランダガーデニング⑥	顧客の希望に合わせたデザイン企画と提案方法	高山 講義
18	ベランダガーデニング⑦	コンテナガーデンの管理方法と肥料について	高山 講義
19	ベランダガーデニング⑧	メンテナンス作業とテクニック②	高山 演習

20	ベランダガーデニング⑨	病虫害防除とプランニング資料の発表	高山 講義
21	小型コンテナ 指導実践①	小型コンテナ寄せ植え制作 模擬授業について	鈴木 講義・演習
22	ベランダガーデニング⑩	工具の使い方(DIY)	高山 演習
23	ベランダガーデニング⑪	冬のベランダ植栽計画	高山 講義
24	指導実践②	模擬園芸教室 (担当者のみ制作)	鈴木 演習
25	ベランダガーデニング⑫	冬のベランダ植え替え実習	高山 演習
26	見学	横浜植木(株)園芸展示会見学(A・B合同)	常勤職員 見学
27	指導実践③	模擬園芸教室 (担当者のみ制作)	鈴木 演習
28	ベランダガーデニング⑬	ベランダガーデニング まとめ(テスト)	高山 講義
29	指導実践④	模擬園芸教室 (担当者のみ制作)	鈴木 演習
30	指導実践⑤	模擬園芸教室 (担当者のみ制作)	鈴木 演習
他教科との関連 グリーンデザイン 花と緑の商品知識		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

## 2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	園芸実習		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース B	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	通年		時間数	120	単位数 4
授業概要	学校のベランダやエントランス、三井住友海上(MSK)本社前花壇や屋上菜園を実習場所とし、花壇作成・メンテナンスなどの作業を通して園芸用具の使い方や土づくりなどの知識と技術の習得を目指す。	到達目標	園芸作業を実践することにより、植物の栽培作業方法の基本を理解できるようにすることを目指す。		
担当教員プロフィール	鈴木靖子 元園芸用薬品類製造販売会社勤務。現在はフリーランスで、一般園芸愛好家への園芸指導や個人宅のガーデン施工を行っている。その経験をもとに、花壇施工、寄せ植え制作など実践指導する。 高山徹也 本校卒業生。卒業後、園芸店などで実務経験を積んだ後、ガーデニングショップをオープン。数多くの植栽・ガーデニング工事を手掛けた経験から、より実践的な内容で授業展開を行う。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技90% 発表0% その他(出席率・授業態度など)10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

回	指導項目	指導内容	備考
1	ベランダガーデニング①	ベランダガーデニングとは	高山 講義
2	ベランダガーデニング②	初夏のベランダ植栽計画	高山 講義
3	ベランダガーデニング③	初夏のベランダ植え替え実習	高山 演習
4	ベランダガーデニング④	草花選びと培養土について	高山 講義
5	ベランダガーデニング⑤	顧客の希望に合わせたデザイン企画と提案方法	高山 講義
6	ベランダガーデニング⑥	コンテナガーデンの管理方法と肥料について	高山 講義
7	ベランダガーデニング⑦	メンテナンス作業とテクニック②	高山 演習
8	ベランダガーデニング⑧	病虫害防除とプランニング資料の発表	高山 講義
9	ベランダガーデニング⑨	工具の使い方(DIY)	高山 演習
10	ベランダガーデニング⑩	盛夏のベランダ植栽計画	高山 講義
11	ベランダガーデニング⑪	盛夏のベランダ植え替え実習	高山 演習
12	ベランダガーデニング⑫	ベランダガーデニング まとめ(テスト)	高山 講義
13	花壇植栽管理①	MSKメンテナンス	鈴木 演習
14	花壇植栽管理②	MSK 秋の花壇づくり	鈴木 演習
15	大型コンテナ①-1	秋のコンテナ(店舗前) 企画	鈴木 演習
16	見学	ギフトショー見学	常勤職員 見学
17	花壇植栽管理③	MSKメンテナンス	鈴木 演習
18	大型コンテナ①-2	秋のコンテナ(店舗前) 制作	鈴木 演習
19	花壇植栽管理④	MSKメンテナンス	鈴木 演習

20	大型コンテナ②-1	冬のコンテナ（店舗前） 企画	鈴木 講義
21	花壇植栽管理⑤	MSKメンテナンス	鈴木 演習
22	花壇植栽管理⑥	MSK 冬の花壇づくり	鈴木 演習
23	大型コンテナ②-2	冬のコンテナ（店舗前） 制作	鈴木 演習
24	花壇植栽管理⑦	MSKメンテナンス	鈴木 演習
25	小型コンテナ 指導実践①	小型コンテナ寄せ植え制作 模擬授業について	鈴木 講義・演習
26	指導実践②	模擬園芸教室（担当者のみ制作）	鈴木 演習
27	見学	横浜植木(株)園芸展示会見学(A・B合同)	常勤職員 見学
28	指導実践③	模擬園芸教室（担当者のみ制作）	鈴木 演習
29	指導実践④	模擬園芸教室（担当者のみ制作）	鈴木 演習
30	指導実践⑤	模擬園芸教室（担当者のみ制作）	鈴木 演習
他教科との関連 グリーンデザイン 花と緑の商品知識		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	デザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	6月	時間数	15	単位数	0.5
授業概要	構成力・描写力・空間に対する認識等を培い、ビジュアル表現におけるコミュニケーション能力を身に付ける。	到達目標	作業に参加し、課題を完成させていくことで、デザインの基本概念への理解を促していくことを目標とする。		
担当教員 プロフィール	徳永雅之 東京芸術大学を卒業後、油絵画家として創作活動を続け、多くの作品を創出。植物を素材とした創作活動であるフラワーデザインにおいて、重要な構成要素であるデザインの基本概念を、専門的な知識と技術を持って分かりやすく指導する。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他(出席率・授業態度など)0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	つないで見る 点・線・面・立体とは?	観察する・伝える 「～している人」を点描により線・面をつないで描画する	講義・演習
2	構成デザインの単体体験	バラバラにしてみる 集めてみる	講義・演習
3	幾何形態を描く	基本的形の理解 陰影、遠近感(遠近法)の表現	講義・演習
4	かたちで見る	ブレインストーミング プロポーションの変化 シンメトリーを探す	講義・演習
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	デザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	9月	時間数	30	単位数	1
授業概要	1年次に学んだデザインの基本的な知識と技術をベースに、より実践的な表現方法や応用技術、プレゼンテーションの仕方などを習得する。	到達目標	実際のプレゼンテーションの場において役立つ、ベースやデザイン面の描き方、空間を表現する力を身に付ける。		
担当教員 プロフィール	徳永雅之 東京芸術大学を卒業後、油絵画家として創作活動을続け、多くの作品を創出。植物を素材とした創作活動であるフラワーデザインにおいて、重要な構成要素であるデザインの基本概念を、専門的な知識と技術を持って分かりやすく指導する。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他(出席率・授業態度など)0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	スケッチから伝える①	モチーフをスケッチ	徳永 講義・演習
2	スケッチから伝える②	モチーフをスケッチ・講評	徳永 演習
3	スケッチから伝える③	写真を見て描く・プレゼンボードの完成	徳永 講義・演習
4	スケッチから伝える④	プレゼンテーション・講評	徳永 講義・演習
5	スケッチから伝える⑤	デッサン 伝わる絵 表現方法	徳永 講義・演習
6	スケッチから伝える⑥	デッサン 伝わる絵 表現方法	徳永 講義・演習
7	スケッチから伝える⑦	空間表現	徳永 講義・演習
8	スケッチから伝える⑧	空間表現	徳永 講義・演習
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	植物の基礎知識		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	6月～8月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	植物は、私たちの生活にとってなくてはならないものである。この植物を扱う園芸業界でスペシャリストとして活躍するため、基本的な植物に関する知識を身に付けることを目的とする。	到達目標	植物の性質や分類、生態に関する用語や知識を理解することを目標とする。		
担当教員 プロフィール	草間さきく 中学・高校の「理科」教員免許を持ち、非常勤講師として中学・高校・大学で教鞭をとった経験がある。専門分野である生物学の知識をもとに演習を交えながら、植物の基礎知識をより分かりやすく講義する。				
テキスト・教材	園芸・植物用語集 (淡交社)、鉢花ハンディ事典 (NHK出版)、自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験50% レポート50% 実技0% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	ガイダンス 課題について 植物の分類	植物の名前、学名 鉢花ハンディ事典と園芸・植物用語集の使い方	講義
2	植物の構造	細胞の構造、器官 (根・葉・茎) や花の構造	講義
3	被子植物の生殖と繁殖	花と種子のつき方 無性生殖と有性生殖	講義
4	遺伝の基礎	遺伝と変異 品種改良	講義
5	植物の生理生態①	種子の発芽、光合成、呼吸	講義
6	植物の生理生態②	刺激に対する応答と植物ホルモン	課題
7	植物の生理生態③	植物の栄養 土壌や肥料の種類、性質	講義
8	植物の進化と多様性 生態系	コケ、シダ、裸子植物、被子植物 バイオーム	講義
9	植物の色と香り	植物の色と香りの機能	講義
10	まとめ テスト		講義
11	カイワレダイコンの発芽		課題
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 花と緑の商品知識 I		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業 毎回の課題は次週の授業の最初に提出

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	花の文化			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～7月	時間数	30	単位数	1	
授業概要	古くから人が花や緑とどのように関わってきたか、その歴史文化が現在の園芸ビジネスに至っていることを理解する。	到達目標	行事、花、園芸の用語を理解すること。			
担当教員 プロフィール	伊達啓子	花の歴史と文化の研究家として多くの専門誌に寄稿され、花や植物と我々の生活との関わりや文化的発展について講義する。				
	日野原健司	太田記念美術館主席学芸員。浮世絵の研究家。江戸時代の浮世絵にみる日本における園芸文化の発展を解説、講義する。				
	知地正和	小原流いけばな研究院助教授。いけばなの歴史と伝統、その技と魅力をデモンストレーションを交えてわかりやすく伝える。				
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験80% レポート20% 実技0% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	古代の花文化	多神教と植物崇拜 西アジア、エジプト、ギリシャ、ローマ、ケルト	伊達 講義
2	中世の花文化	イスラム園芸の影響 キリスト教と花のシンボリズム、 キリスト教の行事と花	伊達 講義
3	近世ヨーロッパの栽培と ガーデニング	ヨーロッパ園芸の歩み、 20世紀の変化 イタリア、オランダ、フランス、イギリス	伊達 講義
4	花を飾る歴史	フラワーアレンジの歴史の流れ、イベント (物日)	伊達 講義
5	花を飾る歴史 日本人と花の伝統	冠婚葬祭の花の変遷、古代から中世の花文化	伊達 講義
6	日本人と花の伝統 筆記試験	花の五節句、花の行事 テスト	伊達 講義
7	江戸の園芸	江戸園芸文化を浮世絵を通して知る	日野原 講義
8	華道の魅力	華道の歴史とその魅力について知る	知地 講義 デモンストレーション
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン ガーデニング フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	カラーコーディネート		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	6月～7月	時間数	30	単位数	1
授業概要	色彩の基礎知識を習得し、花材の色合わせや造形力に活かす。	到達目標	色彩の基礎知識と配色調和を理解することを目標とする。		
担当教員 プロフィール	熊谷佳子 一般財団法人日本色彩研究所認定色彩指導者。ファッションデザインの現場を経て、カラーコーディネーターへ。企業研修においてさまざまな色彩講座を担当。パーソナルカラー分析など色彩関連の講演・講座活動も多く手掛ける。その経験をもとに、フラワーデザインにおける色彩の重要性を実践を交えた授業形式で展開していく。				
テキスト・教材	自作プリント カラー&ライフ (色研事業) 新配色カード199a				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	色の仕組み①・②	色の種類と性質 PCCS(色相とトーン)・色名	講義
2	配色のルール①	色相配色	講義
3	色の仕組み③	トーンと等色相面	講義
4	確認テスト① 色の仕組み④・色彩心理	確認テスト、解答・解説 色立体	講義
5	配色のルール②	トーン配色・アクセントカラー他 応用	講義
6	売り場づくりと色	実習「カラーサークル」 ディスプレイと照明・色の使い方	演習・講義
7	確認テスト② 配色の実践	確認テスト、解答・解説 実習「配色を意識したラウンドアレンジメント」	演習・講義
8	色でイメージを表現する イメージ表現の実践	配色表現の応用 実習「色のイメージを意識した花束」	演習・講義
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン グリーンデザイン フラワービジネス	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	園芸流通		履修区分	必修	選択	
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～7月	時間数	30	単位数	1	
授業概要	フラワービジネス業界で働く人たちが知っておかなければならない業界の仕組みと役割及び現状と今後について理解させる。	到達目標	フラワービジネス業界の基本的な仕組みの概要と役割を理解することを目標とする。また、その中でいかに知識と技術をしっかりと身に付けるべきかを理解させる。			
担当教員 プロフィール	松田 岑夫 元静岡県農業試験場勤務。長年花き生産技術の開発や花卉市場での流通に関わる分野に携わってきた経験をもとに、フラワー業界の概要を講義する。					
テキスト・教材	自作プリント スライド					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート90% 実技0% 発表0% その他(出席率・授業態度など)10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸流通を学ぶにあたって	園芸流通の分野にはどのようなものがあるか? フラワービジネスと情報の収集について	講義
2	①種苗産業 ②花き生産(栽培) ③輸入・輸出	種苗産業の動向と国内の花き生産状況について 「花と緑」の輸入・輸出の状況と仕組みについて	講義
3	④市場(卸売業・仲卸業) ⑤花束加工業	市場の機能と仕入れ方法等と市場外流通について 花束加工業の仕組み	講義
4	⑥小売業 ⑦-1フラワーショップⅠ	小売業の役割について フラワーショップのいろいろな形態と現状について	講義
5	大田市場見学	セリの見学	見学
6	⑦-2フラワーショップⅡ ⑧通信配達 ⑨冠婚葬祭業	フラワーショップの今後と通信配達の現状について 冠婚葬祭業の現状について	講義
7	⑩園芸店・カーテンセンター⑪量販店 ⑫資材業 ⑬通信販売業	「花と緑」の取り扱い状況・量販店での取扱 各種資材業とインターネットビジネスについて	講義
8	⑭園芸装飾(貸鉢)業 ⑮造園緑化業 ⑯社会園芸	インドアにおける「花と緑」の利用状況と貸鉢業概要 造園業界の概要と環境・園芸療法や花育について	講義
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワービジネス	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	ビジネスマナー		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	7月～10月	時間数	30	単位数	1
授業概要	学生気分を切り替えて社会に適応できる人材を育成する。ビジネスマナーの基本を身に付け、多様な人々とのコミュニケーションを取れるよう、また、セルフエスティームを高め、自信を持って社会で活躍できる人材を目指す。	到達目標	コミュニケーションの重要性、ビジネスマナーの意味を理解する。自分の言葉で伝える力を身に付ける。自分にとっての「働く」意味を考え、長期のキャリアビジョンを考える。		
担当教員プロフィール	法林孝子 キャリアコンサルタントとして求職者支援訓練等に長年携わり、転職・再就職時のキャリアプランニングや模擬面接指導などを行ってきた経験をもとに、社会人としての基本マナーなどを実践を交えて指導する。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験15% レポート0% 実技0% 発表15% その他(出席率・授業態度など)70%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション・アイスブレイク 組織で働くとは	学生と社会人の違い なぜマナーが大切なのか 自分にとっての「働く意味」を考える	講義・演習
2	コミュニケーションの成立要件とステップ ビジネスマナーの基本①	成立要件とステップについて解説 傾聴力を磨く	講義
3	ビジネスマナーの基本②③	大人の言葉遣い 電話・メール対応	講義・演習
4	ビジネスマナーの基本④⑤	接客応対 指示命令の受け方	講義・演習
5	ビジネスマナーの基本⑥⑦	報・連・相 チームビルディング	講義・演習
6	キャリアビジョンを考える 自己分析①	自分にとっての「働く」意味を考える 未来像を描いてみる 仕事選びの軸を考える	講義・演習
7	自己分析② 企業研究と求人検索	コンピテンシーの確認 企業の求める人物像を探る 求人票の見方	講義・演習
8	履歴書の書き方 まとめとテスト	自己PR 志望動機 面接の流れ解説 理解度テスト 質疑応答・フリーディスカッション	講義・演習
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 インターンシップ フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	ビジネスマナー		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	4月～7月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	就職試験に向け、好感をもたれるマナーを身につける。自分自身のコミュニケーションの傾向を知り、新しい環境への不安を払拭する。社会人としての確かな生活設計を立てるために保険や年金などお金のことを学ぶ。	到達目標	自信を持って自己PRができるようになる 的確な言葉遣いができるようになる 文章力と表現力を身につける 税金や社会保障の仕組みを理解する		
担当教員 プロフィール	法林孝子 キャリアコンサルタントとして求職者支援訓練等に当たってきた経験をもとに、就職活動を想定した模擬面接など実践を取り入れた授業を展開する。 森川敏彦 大手生命保険会社に勤務。ファイナンシャル・プランナーの視点から税金・社会保障の仕組みを分かりやすく講義。ゆとりあるライフプランと働き方について考える。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート20% 実技0% 発表30% その他(出席率・授業態度など) 50%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ビジネスマナー演習①	挨拶・身だしなみ・感じの良い言葉遣いとマジックフレーズ	法林 講義・演習
2	ビジネスマナー演習②	面接を意識した演習(電話応対・訪問マナー・名刺交換)	法林 講義・演習
3	履歴書を完成させる	会ってみたいと思ってもらえるような履歴書づくり 送付状・封筒の描き方、写真の重要性	法林 講義
4	志望動機・自己PRを考える	企業研究の方法、働く自分をイメージしながら志望動機を考える、エピソードからコンピテンシーを見つける	法林 講義
5	伝える力を磨く	伝える≠伝わるを知る 分かりやすく・簡潔に・印象深く伝える練習	法林 講義・演習
6	面接練習①	面接の目的と採用側の視点 面接の流れを中心にロールプレイング	法林 演習
7	面接練習②	特定の企業を想定し、模擬面接実習(個人・グループ) 逆質問の重要性・全体を振り返っての質疑応答	法林 演習
8	グループディスカッション	グループディスカッションワーク 評価基準 合否それぞれの傾向	法林 演習
9	ビジネスマナーの振り返り	新入社員としての心構え 報告・連絡・相談 全体を振り返っての質疑応答 課題	法林 講義
10	お金のことを学ぶ時代	ファイナンシャル・リテラシーとライフデザイン	森川 講義
11	税金・社会保障について	税金・年金・保険 チェックテスト	森川 講義
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 インターンシップ	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	時事教養		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	9月～12月	時間数	30	単位数	1
授業概要	現代社会の諸問題について、その背景と課題を考えていく力をつける。 生活環境・文化についても関心を深め知識の向上を図る。	到達目標	各テーマで提示される資料やデータを読み取ることができる。 問題の背景を指摘し、自分なりの考えを表現できるようにする。		
担当教員 プロフィール	堀切昌美 通信制高校や専門学校などで文章・言語表現の指導、ディスカッション指導の経験を持つ。世間で関心の高い時事問題を取り上げ、グループ・ディスカッションを通して問題を掘り下げ考える力と自分なりの考えを表現できる力を養う授業をおこなう。				
テキスト・教材	新聞・雑誌・政府刊行物・自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験30% レポート50% 実技0% 発表20% その他(出席率・授業態度など)0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション	授業内容説明・評価について 自己の関心	講義・演習
2	人口減少社会①	少子化について	講義・演習
3	人口減少社会②	高齢化について	講義・演習
4	格差社会	格差の種類 格差の何が問題か	講義・演習
5	ノーマライゼーション	生きやすい社会とは	講義・演習
6	グローバル化	外国人増加のメリット・デメリット	講義・演習
7	高度情報社会	情報化の進展・AI	講義・演習
8	暮らしと環境①	「食」の問題、食品ロス	講義・演習
9	暮らしと環境②	「住」「衣」を考える	講義・演習
10	SDG s	持続可能社会に向けて	講義・演習
11	人間関係・コミュニケーション	コンセンサスゲーム	講義・演習
12	授業の振り返り	プレゼン計画	講義・演習
13	プレゼンテーション①	個人発表またはペア・グループ発表	講義・演習
14	プレゼンテーション②	個人発表またはペア・グループ発表	講義・演習
15	授業まとめ	確認小テスト	講義
他教科との関連 ビジネスマナー インターンシップ		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(1コマ)90分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	ビジネス能力検定3級		履修区分	必修	選択	
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～12月		時間数	30	単位数	1
授業概要	現代の職業社会が必要とするビジネス能力の基礎を学び、ビジネス能力検定3級の合格を目指す。	到達目標	ビジネス能力検定3級試験に合格することを目標とする			
担当教員 プロフィール	堀切昌美 自身の販売員としての社会経験と就職対策講師としての経験をもとに、大学・専門学校などでビジネス能力検定試験対策講座の非常勤講師を務めている。ケーススタディをベースに分かりやすく講義、合格率100パーセントを目指す。					
テキスト・教材	ビジネス能力検定「ジョブパス」3級 2019年度版 (実教出版)					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験100% レポート0% 実技0% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション	自己紹介、授業で学ぶこと	講義
2	キャリアと仕事へのアプローチ①	組織人としての重要な心構え	講義
3	キャリアと仕事へのアプローチ②	指示の受け方と報告・連絡・相談	講義
4	ビジネスマナーの基本	尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分け	講義
5	仕事への取り組み	マニュアル化、スケジュール管理 小テスト①	講義・演習
6	会社活動の基本	組織について、役割	講義
7	ビジネス文書の基本	社内文書と社外文書	講義
8	授業の振り返り	ビジネス用語の確認	講義
9	過去問に挑戦①	ビジネスの基本分野の復習	講義
10	過去問に挑戦②	新聞記事とケースの問題 小テスト②	講義・演習
11	統計データの読み方	数値把握、手順	講義
12	会社数字の読み方	基礎知識	講義
13	過去問に挑戦③	演習	講義・演習
14	授業まとめ	単位認定試験	講義・演習
15	実践編	「会社ゲーム」から考える	講義・演習
他教科との関連 ビジネスマナー 時事教養	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(1コマ)90分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	花と緑の商品知識 I		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	7月～1月	時間数	90	単位数	3
授業概要	生花店・園芸店で取り扱う園芸植物・資材の主要品目について、その特徴や種類、取扱い方法などについて学ぶ。	到達目標	代表的な植物や資材に対するお客様からの問に答えられる最低限の知識の習得を目標とする。出回り時期、観賞時期、店頭での主な管理方法、園芸的分類、花色など		
担当教員 プロフィール	大久保茂徳 生花・園芸販売企業で販売員として、また大手ホームセンターの園芸相談員として勤務した経験があり、実務経験に基づいた園芸商品の取り扱い方法を講義する。 山本裕隆 元高木伝統園芸文化振興財団学芸員。自然環境知識や盆栽技術を生かした庭園づくりを行う造園業を営む。				
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典 春～夏編・秋～早春編 (NHK出版) ・ 自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	ガイダンス	フォーマットの書き方/園芸的分類	大久保 講義
2	花壇苗・鉢物①	初夏～夏に出回る植物 1	大久保 講義
3	花壇苗・鉢物②	初夏～夏に出回る植物 2/夏の植物管理	大久保 講義
4	ハーブ	人気のあるハーブとその管理	大久保 講義
5	花壇苗・鉢物③	初夏～夏に出回る植物 3	大久保 講義
6	花壇苗・鉢物④	初夏～夏に出回る植物 4	大久保 講義
7	花壇苗・鉢物⑤	夏～秋に出回る植物 1	大久保 講義
8	花壇苗・鉢物⑥	夏～秋に出回る植物 2	大久保 講義
9	花壇苗・鉢物⑦	夏～秋に出回る植物 3	大久保 講義
10	樹木①	良い苗の選び方・植え付け方	大久保 講義
11	樹木②	人気のある木本の紹介 (花木・香木等)	大久保 講義
12	花壇苗・鉢物⑧	秋～冬に出回る植物 1	大久保 講義
13	花壇苗・鉢物⑨	球根植物の種類と植え付け方法	大久保 講義
14	花壇苗・鉢物⑩	秋～冬に出回る植物 2	大久保 講義
15	花壇苗・鉢物⑪	秋～冬に出回る植物 3	大久保 講義
16	山野草・盆栽①	山野草とは/主な山野草の管理について	山本 講義
17	山野草・盆栽②	盆栽について	山本 講義
18	多肉植物・サボテン	多肉・サボテンとは/主な管理方法	大久保 講義
19	園芸資材	コンテナの素材と形 ほか	大久保 講義
20	花壇苗・鉢物⑫	年末商品	大久保 講義
21	花壇苗・鉢物⑬	冬～初春に出回る植物 1	大久保 講義
22	花壇苗・鉢物⑭	冬～初春に出回る植物 2/冬の植物管理	大久保 講義
23	花壇苗・鉢物⑮	冬～初春に出回る植物 3	大久保 講義
他教科との関連 グリーンデザイン フラワービジネス	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	花と緑の商品知識 II		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	4月～10月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	主な植物の種類や性質の把握 季節に応じた草花・花木・鉢物などの商品知識・店頭管理や栽培の基礎知識の習得	到達目標	代表的な植物や資材に対する顧客からの最低限の問いに答えられる程度の知識の習得（出回り時期、観賞時期、管理方法、園芸的分類、花色など）		
担当教員 プロフィール	大久保茂徳 生花・園芸販売企業で販売員として、また大手ホームセンターの園芸相談員として勤務した経験があり、実務経験に基づいた園芸商品の取り扱い方法を講義する。 石井康之 種苗会社勤務 種苗会社の役割と野菜苗の品種開発の現状について講義する。 草間祐輔 園芸研究家 家庭園芸での薬剤の使い方について実践的な指導を行う。				
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典 春～夏編・秋～早春編（NHK出版）・ 自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	花壇苗・鉢物①	春～初夏に出回る植物 1	大久保 課題
2	花壇苗・鉢物②	春～初夏に出回る植物 2	大久保 課題
3	花壇苗・鉢物③	カラーリーフ・芝生・下草	大久保 課題
4	樹木①	春～初夏に園芸店に出回る花木・香木 1	大久保 講義
5	花壇苗・鉢物④	春～初夏に出回る植物 3	大久保 講義
6	樹木②	春～初夏に園芸店に出回る花木・香木 2	大久保 講義
7	花壇苗・鉢物⑤	初夏～夏に出回る植物 復習	大久保 講義
8	野菜類①	種苗会社の仕事について	石井 講義
9	野菜類②	野菜の種子・おすすめ野菜などについて	石井 講義
10	土・肥料・薬品①	病害虫に対する薬品の種類と使用上の注意点	草間 講義
11	土・肥料・薬品②	植物に適した土や肥料の選び方	草間 講義
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワービジネス	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	グリーンデザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	7月～2月	時間数	60	単位数	2
授業概要	園芸作業の基礎知識の学習と寄せ植えなどの制作技術の基本を学び、指導できるレベルを目指す。	到達目標	園芸作業を行うために必要な基礎知識と制作技術の習得は必須である。		
担当教員プロフィール	グリーンアドバイザー (園芸ソムリエ) ・ハンギングバスケットマスター 中道光子 日比谷公園内企業花壇の管理指導、花育活動や福祉施設での園芸療法、家庭園芸の普及指導など長年にわたる指導の経験から、園芸作業の基礎をわかりやすく講義・実践指導する。				
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典 春～夏編・秋～早春編 (NHK出版) ・ 自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する 筆記試験0% レポート10% 実技50% 発表30% その他 (出席率・授業態度など) 10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸基礎作業①	用土・肥料・鉢・管理の基本	講義・演習 AM:FD PM:BF
2	小作品制作①	日当たりを好む植物 または日陰を好む植物の寄せ植え	講義・演習 AM:FD PM:BF
3	園芸基礎作業②	株分け	講義・演習 AM:FD PM:BF
4	園芸基礎作業③	種まき	講義・演習 AM:FD PM:BF
5	小作品制作②	ハーブの寄せ植え	講義・演習 AM:FD PM:BF
6	小作品制作③	水生植物について 苔玉づくり	講義・演習 AM:FD PM:BF
7	小作品制作④	多肉植物・サボテンの寄せ植え	講義・演習 AM:FD PM:BF
8	小作品制作⑤	ハンギングバスケット制作 (秋の植物)	講義・演習 AM:FD PM:BF
9	小作品制作⑥	球根植物の寄せ植え	講義・演習 AM:FD PM:BF
10	イベント見学	日比谷公園ガーデニングショー	見学 全員
11	指導実践①	模擬園芸教室 計画・準備	講義 上段:BF 下段:FD
12	指導実践②	模擬園芸教室 制作・発表	演習 上段:BF 下段:FD
13	指導実践③	模擬園芸教室 制作・発表	演習 上段:BF 下段:FD
14	指導実践④	模擬園芸教室 制作・発表	演習 上段:BF 下段:FD
15	指導実践⑤	まとめ	講義 上段:BF 下段:FD
他教科との関連 グリーンコーディネーター ガーデニング		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 同じ内容の授業を、コース別に分けて行う 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	グリーンコーディネート		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	9月～10月	時間数	30	単位数	1
授業概要	インテリアプランツ(観葉植物)についての基礎知識を学び、それらをコーディネートすることでより良い空間をデザインする技術を学ぶ。自然の植物との関わり方、管理を学ぶ。	到達目標	インテリアプランツ(観葉植物)の特性を知り、その基本的な管理方法を理解することが目標である。		
担当教員プロフィール	中道光子 グリーンアドバイザー(園芸ソムリエ)・ハンギングバスケットマスター 家庭園芸の普及指導、インテリアグリーンの普及活動など長年にわたる経験から、観葉植物の楽しみ方を多くの方々に知ってもらうためのノウハウを指導する。				
テキスト・教材	はじめての観葉植物・多肉植物 選び方と育て方(西東社)				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート30% 実技60% 発表0% その他(出席率・授業態度など)10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション グリーンコーディネートについて	自己紹介 授業内容と進め方 知っている観葉植物についてレポートにまとめる	講義
2	グリーンインテリアの基礎①	インドアグリーンとして使用する植物を知る (樹形、色彩、管理)	講義
3	グリーンインテリアの基礎②	10種類を選び、自分だけのミニ図鑑作成	講義・演習
4	仲御見学	㈱村田永楽園見学	見学
5	プレゼンボード作成①	新聞のチラシなどを利用し、建物の図面作成	演習
6	プレゼンボード作成②	図面に植物を記入	演習
7	テラリウム作成	用土づくり、植えこみ、管理	演習
8	プレゼンボード発表	1人ずつプレゼンテーション	演習
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 グリーンデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	ガーデニング		履修区分	必修	選択	
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～10月	時間数	30	単位数	1	
授業概要	ガーデニング(家庭園芸)の現状を把握し、基礎知識を学ぶ。植物・資材の選択に必要な要素と各々の特色を学ぶ。植物画を描いて、観察する力を養う。	到達目標	環境に適した植物の選択ができる。植物画が描くことで、植物の特徴を理解する。切り花ではない育てる園芸に興味を持つ。			
担当教員プロフィール	国吉純 園芸関連イベント等での講師をはじめ、住宅関連企業、集合住宅等で家庭園芸の普及活動を続けてきた経験から、「楽しく簡単に華やかに育てる」をモットーに年齢や場所に関係なく植物と触れ、育て、楽しめるガーデニング、植物選び、メンテナンス法などの指導を講義・演習する。					
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典 春～夏編・秋～早春編(NHK出版)・ 自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート50% 実技20% 発表0% その他(出席率・授業態度など)30%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ガーデニングとは?①	現代日本のガーデニング事情 植物のデッサン(実習)	講義・演習
2	ガーデニングとは?②	ガーデニングの歴史(西洋・日本) ガーデニングの可能性	講義
3	植物について	植物の種類と植物を活かす技術・方法論	講義
4	庭のデザイン①	デザインの仕方 模型制作(実習)	講義・演習
5	庭のデザイン②	庭を構成する資材・エクステリア 模型制作(実習)	講義・演習
6	寄せ植えの基礎知識と実践	ミニコンテナの寄せ植え(実習) プレゼンテーション資料制作	講義・演習
7	ガーデニングの展望	商業施設・壁面・屋上緑化のデザイン 園芸療法・緑の活用	講義
8	ガーデン見学	晴海トリトンスクエア見学	見学
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 グリーンデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2019年度 シラバス (授業細目表)

科目名	インターンシップ			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	120		単位数	4
授業概要	実習科目の実践 職業現場の実際を知見する 現場における実務経験の訓練	到達目標	最低限、社会人として必要なコミュニケーション力とビジネスマナーの実践を確実なものとするのが目標である。			
担当教員 プロフィール	水本寿美江 カリキュラム全体を統括し学生の就職活動指導を行う教務部長の立場で、受け入れ先企業と連携して各コースの学生に求められる各分野ごとの基礎技術・社会人としての素養が身に付いているか実務経験を通して総合的に判断し指導する。					
テキスト・教材						
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する 筆記試験0% レポート50% 実技0% 発表0% その他(出席率・授業態度など)50%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	短期アルバイトを兼ねた インターンシップ	週末や母の日・年末など物日に、花き園芸業界でアルバイトをする(5日以上必須)	
2	インターンシップ(2月末)	期間中実動10日間、花き園芸業界で実務を経験する	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 全教科	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	インターンシップ		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	5月・11月	時間数	120		単位数 4
授業概要	実習科目の実践 職業現場の実際を知見する 現場における実務経験の訓練	到達目標	実務を通して基礎知識・技術の重要性を学び、社会人として必要なコミュニケーション力とビジネスマナーの実践を目標とする。		
担当教員 プロフィール	元生花店勤務。教務部長、就職担当の立場から、各学生の希望に沿った実習先企業を選定・依頼をする。また、カリキュラム全体を統括する立場であることから、各コースごとに学生に求められる基礎技術・資質など企業からの評価と合わせて総合評価をすることができる。				
テキスト・教材					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート50% 実技0% 発表0% その他(出席率・授業態度など)50%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	母の日短期アルバイトを兼ねたインターンシップ	期間中3日以上、園芸店もしくは生花店でアルバイトをする	実習
2	インターンシップ	期間中実動12日間、就職内定先または就職希望先で実務を経験する	実習
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 全教科	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	卒業制作		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	12月～1月	時間数	30	単位数	1
授業概要	2年間学んできたことの集大成として、作品を制作し卒業作品展で家族や一般の方々に見ていただく。出品作品を制作する過程を記録し、まとめたものを課題研究とする。	到達目標	自分だけのオリジナルデザイン考え試行錯誤しながら完成させることを目標とする。また、作品制作の過程を記録することも必須である。		
担当教員 プロフィール	水本寿美江 元生花店勤務。本校教務部長でありカリキュラム全体を統括する立場であることと、豊富な実務経験から、各コースごとに学生に求められる基礎技術・獨創性など総合評価をすることができる。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート25% 実技75% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	卒業作品展について説明 作品企画立案	レポートの作成要領と作品規定を説明。 各々作品の構想を練る	講義
2	企画書作成・完成	デザイン案・企画書の内容についてアドバイスを受け、完成させる	講義・演習
3	コンセプト作成	デザインの基本的な思想(方向性)を文章にして表現する	講義・演習
4	花材・資材購入準備 展示プレート用コメント作成	作品を制作するための具体的な準備を進める	講義・演習
5			
6			
7		作品制作	演習
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 全教科	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 フラワー装飾技能士2級			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	5月～7月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	フラワー装飾技能士3級合格を目指し、デザインにおける基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	フラワー装飾技能士2級合格			
担当教員 プロフィール	<p>山崎佳代子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。</p> <p>小池智子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。</p>					
テキスト・教材	学科問題集 実技試験問題 (プリント)					
成績評価方法	筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	試験内容説明 実技演習①	試験内容説明 課題1 花束A	講義・演習
2	実技演習②	課題2 トライアングラー・ファン	演習
3	実技演習③	課題1 花束B・花束A	演習
4	実技演習④	課題3 キャスケード	演習
5	実技演習⑤	課題2 ホリゾンタル 他	演習
6	実技演習⑥	課題3 クレセント	演習
7	模擬試験①	課題1 花束 課題2 アレンジメント	演習
8	模擬試験②	課題3 ブーケ	演習
9	模擬試験③	課題1 花束 課題2 アレンジメント	演習
10	模擬試験④	課題3 ブーケ	演習
11			
12		※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間 (0.5単位) を認定する	
13		※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間 (0.5単位) を認定する	
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間 (1単位) 認定する。

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	選択 フラワー装飾技能士3級			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	5月～7月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	フラワー装飾技能士3級合格を目指し、デザインにおける基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	フラワー装飾技能士3級合格			
担当教員 プロフィール	高野真樹子 1級フラワー装飾技能士。本校実習店舗スタッフ。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。 水本寿美江 1級フラワー装飾技能士。本校教員として10年以上フラワーデザインの技術指導に携わる。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。					
テキスト・教材	学科問題集 実技試験問題（プリント）					
成績評価方法	筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	試験内容説明 実技演習①	試験内容説明 ブートニアの制作方法を学ぶ	講義・演習 AM:FDコース PM:BFコース
2	実技演習②	花束・リボンの制作方法を学ぶ ブートニアの制作方法復習	演習 AM:BFコース PM:FDコース
3	実技演習③	花束の制作方法復習 アレンジメントの制作方法を学ぶ	演習 AM:BFコース PM:FDコース
4	実技演習④	リボン・花束・アレンジメント・ブートニアの復習	講義・演習 AM:FDコース PM:BFコース
5	模擬試験①	本番同様に時間を図って実技試験復習	演習
6	模擬試験②	本番同様に時間を図って実技試験復習	演習
7	模擬試験③	本番同様に時間を図って実技試験復習	演習
8	模擬試験④	本番同様に時間を図って実技試験復習	演習
9			
10		※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
11		※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	選択 園芸装飾技能士3級		履修区分	必修	○選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	○講義	実習	○演習 見学
開講時期	6月～7月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	園芸装飾技能士3級合格を目指し、必要な知識と技術を習得する。 1年次の選択「園芸装飾」受講は必須	到達目標	園芸装飾技能士3級合格		
担当教員プロフィール	狩野歩 大学・専門学校で園芸を学び、インドアガーデンや造園・貸植木の会社で実務経験を積む。現在は、おもに植栽関連の仕事に従事。園芸装飾技能士1級・職業訓練指導員免許を持つ。豊富な実務経験のもとに、より実践的な指導で合格を目指す。				
テキスト・教材	園芸装飾必携 過去問題集				
成績評価方法	筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	観葉植物の知識①	インドアガーデンに使用する植物・資材・道具	講義
2	観葉植物の知識②	観葉植物の維持管理・病虫害と防ぎ方 演習：人口緑化杉テープの止め方	講義・演習
3	技能検定に向けて①	学科試験対策 演習：突き棒・竹べら作り	講義・演習
4	技能検定に向けて②	学科試験対策	講義
5	技能検定に向けて③	実技試験反復練習	演習 F2級を受講しない学生
6	技能検定に向けて④	実技試験反復練習	演習 F2級を受講しない学生
7	技能検定に向けて⑤	実技試験反復練習	演習 F2級を受講しない学生
8	技能検定に向けて⑥	実技試験反復練習	演習 F2級を受講しない学生
9	技能検定に向けて③	実技試験反復練習	演習 F2級を受講する学生
10	技能検定に向けて④	実技試験反復練習	演習 F2級を受講する学生
11	技能検定に向けて⑤	実技試験反復練習	演習 F2級を受講する学生
12	技能検定に向けて⑥	実技試験反復練習	演習 F2級を受講する学生
13			
14		※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
15		※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
他教科との関連 園芸装飾 グリーンデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	選択 カラーコーディネーター スタンダードクラス		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	10月～11月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	カラーコーディネーター スタンダードクラスの合格を目指し、色彩の基礎知識を身に付ける。	到達目標	カラーコーディネーター スタンダードクラス合格		
担当教員プロフィール	熊谷佳子 一般財団法人日本色彩研究所認定色彩指導者。カラーコーディネーターとして、さまざまな色彩講座を担当。カラーコーディネーター検定試験の参考書も手掛けるなど、その実績により確実な合格に向けた授業展開を行う。				
テキスト・教材	カラーコーディネーションの基礎（東京商工会議所） プリント教材 新配色カード199a				
成績評価方法	筆記試験100% レポート0% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	2章 色を自在に操る方法	各单元ごとに重要事項を指導 練習問題プリントを活用し、検定対策とする	講義・演習
2	3章 きれいな配色をつくる	各单元ごとに重要事項を指導 練習問題プリントを活用し、検定対策とする	講義・演習
3	1章 生活と色の効用 確認テスト①	各单元ごとに重要事項を指導 練習問題プリントを活用 2章・3章の内容確認テスト	講義・演習
4	4章 色を美しく見せる色のマジック	各单元ごとに重要事項を指導 練習問題プリントを活用し、検定対策とする	講義・演習
5	5章 背景色を上手に使うと色見えを変えてみよう	各单元ごとに重要事項を指導 練習問題プリントを活用し、検定対策とする	講義・演習
6	6章 色で売上をアップするために 確認テスト②	各单元ごとに重要事項を指導 練習問題プリントを活用 4章・5章の内容確認テスト	講義・演習
7	まとめ 模試	質疑応答 模試の解答解説	講義・演習
8			
9			
10			
11			
12		※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
13		※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
14			
15			
他教科との関連 カラーコーディネーター		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 リテールマーケティング3級		履修区分	必修	選択	
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	11月～2月		時間数	45	単位数	1.5
授業概要	リテールマーケティング3級の合格を目指し、販売小売業の基礎知識を身に付ける。	到達目標	リテールマーケティング3級合格			
担当教員 プロフィール	北田久雄 大手量販店社員への社員教育や販売士資格取得指導など、販売士の育成指導に40年近くのキャリアを持つ。販売事務・計数管理の基礎をわかりやすく解説、全員合格を目指した授業展開を行う。					
テキスト・教材	自作プリント 電卓					
成績評価方法	筆記試験100% レポート0% 実技0% 発表0% その他(出席率・授業態度など)0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	小売業の類型①	流通における小売業の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
2	小売業の類型②	店舗形態別小売業の基本的役割 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
3	マーチャンダイジング①	商品の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
4	マーチャンダイジング②	販売計画・仕入れ計画の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
5	ストアオペレーション①	包装技術の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
6	ストアオペレーション②	ディスプレイの基本 講義内容理解度テスト	講義・演習
7	マーケティング①	小売業のマーケティングの基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
8	マーケティング②	リージョナルプロモーション 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
9	販売・経営管理①	販売員の法令 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
10	販売・経営管理② 予備試験	計数管理の基本 他 「販売・経営管理」科目免除のための予備試験	講義・演習
11	科目別復習①	「小売業の類型」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
12	科目別復習②	「マーチャンダイジング」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
13	科目別復習③	「ストアオペレーション」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
14	科目別復習④	「マーケティング」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
15	総合模擬試験	受験直前全科目総合模擬試験 解答・解説・採点	講義・演習
※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間(0.5単位)を認定する ※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間(0.5単位)を認定する			
他教科との関連 ショップ会計の基礎知識		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間(1単位)認定する。

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 NFD3級・2級・1級		履修区分	必修	選択
受講対象	全学年 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	12月・2月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	花の業界で認知度の高いフラワーデザインの資格、NFD（日本フラワーデザイナー協会）の技術資格試験合格を目指し、デザインにおける基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	それぞれが目指す級の合格を目指す		
担当教員 プロフィール	山崎佳代子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。 小池智子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。				
テキスト・教材	NFDフラワーデザイナー 資格検定テキスト				
成績評価方法	筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	試験内容説明 実技演習①	試験内容説明 出題テーマ、支給花材は試験日の1ヶ月前の同日に発表	講義・演習
2	実技演習②	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
3	実技演習③	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
4	実技演習④	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
5	実技演習⑤	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
6	実技演習⑥	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
7	実技演習⑦	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
8	実技演習⑧	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
9			
10			
11			
12		※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
13		※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	選択 英会話		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	11月～1月	時間数	30	単位数	1
授業概要	英語に慣れ親しむことから英会話の基礎の習得を目指し、生花店や園芸店での接客に必要な会話力を身に付ける。	到達目標	一般的な花の名前を英語で覚えること。 挨拶や接客用語等の日常会話の習得。		
担当教員 プロフィール	米カリフォルニア州サンマテオ・カレッジのフローリストリーコースで学ぶ。在学中に経験した生花店での短期アルバイトやブライダル、イベントなどの装飾の仕事を通じて身に付けた英語力と経験を指導にいかす。				
テキスト・教材	自作プリント ビデオ				
成績評価方法	筆記試験100% レポート50% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）50%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	英会話の学習方法について 植物の名前in English ①	英語を聞く・話すための学習方法を指導 植物の特徴をとらえ、英語名を覚える	講義
2	植物の名前in English ② 接客英語in English ①	植物の特徴をとらえ、英語名を覚える 買い物をする場面での接客英語（ファストフードショップ）	講義
3	植物の名前in English ③ 接客英語in English ②	植物の特徴をとらえ、英語名を覚える よく使われる接客英語を覚える	講義
4	ミニテスト 接客英語in English ③	花の名前テスト 花屋での接客英語	講義
5	園芸用語英語 ① 接客英語in English ④	園芸用語英語を覚える 花屋での接客英語	講義
6	ロールプレイ	花屋での接客英語	講義・演習
7	総まとめテスト ビデオ鑑賞	テスト 英語に慣れ親しむ	講義
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワービジネス	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 1回（2コマ）180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 園芸装飾		履修区分	必修	選択	
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～10月	時間数	30		単位数	1
授業概要	主として観葉植物を室内空間で効果的に使うための、知識・技術を身に付けることを目的とする。併せて環境緑化の必要性も理解する。	到達目標	室内空間を飾る材料としての代表的な観葉植物の植生や葉の形・色を知って、それらを効果的に組み合わせる方法を習得する。			
担当教員 プロフィール	狩野歩 大学・専門校で園芸を学び、インドアガーデンや造園・貸植木の会社で実務経験を積む。現在は、おもに植栽関連の仕事に従事。園芸装飾技能士1級・職業訓練指導員免許を持つ。豊富な実務経験をもとに、より実践的な指導で授業を展開。					
テキスト・教材	園芸装飾必携 園芸装飾技能検定実技試験ガイドブック プリント					
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技0% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 100%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	観葉植物の知識	観賞用植物の特質・歴史及び種類	講義
2	植物の育成・管理① インドアガーデン①	植物の育成・管理方法について 中型インドアガーデン制作①	講義・演習
3	インドアガーデンについて① インドアガーデン②	インドアガーデン制作にあたる考え方や手順・注意 中型インドアガーデン制作②	講義・演習
4	インドアガーデンについて② インドアガーデン③	インドアガーデンコンテナディスプレイによる装飾 ミニインドアガーデン制作	講義・演習
5	植物の育成・管理②	見学：赤坂ARK Hills	見学
6	植物の育成・管理③	植物の繁殖方法 毒性について	講義
7	技能検定について	園芸装飾技能士3級について (先生による実技課題デモンストレーション)	講義
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 資格取得 園芸装飾技能士3級		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回 (2コマ) 180分授業

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	選択 園芸福祉		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	9月～11月	時間数	30		単位数 1
授業概要	園芸福祉の基礎概念を理解する 園芸療法で用いる手法を理解する 各専門領域との関連性を学び、活用方法を検討する	到達目標	園芸家として福祉を理解し、植物の効果的活用方法を習得する		
担当教員 プロフィール	毛利ユカ 日本園芸療法学会 専門認定登録園芸療法士 いばらき園芸療法研究会 代表 園芸療法みどりの会 顧問 1999年から医療福祉施設や教育機関にて園芸療法（専門は高齢者）を指導。園芸療法の講演、ワークショップ、スーパーバイズなど園芸療法の啓蒙普及活動を行っている。施設での指導経験をもとに、園芸療法の理論と実践をわかりやすく指導する。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	筆記試験0% レポート30% 実技30% 発表30% その他（出席率・授業態度など）10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	植物を介在した人間関係・空間づくり	自然や環境、植物がもたらす効果 農園芸活動の効果 アトモスフィアの重要性と体験	講義・演習
2	植物利用法	植物を利用したクラフト活動の実際 プログラミング技法①	講義・演習
3	園芸福祉と園芸療法	歴史・適用範囲・対象・事例	講義・演習
4	専門領域と園芸福祉	プログラミング技法②	講義・演習
5	園芸福祉と障碍体験	教育・支援・ケアの観点から園芸を考える	講義・演習
6	植物を介在した援助手法	ロールプレイ技法	講義・演習
7	本科目の総括	プレゼンテーション実践	講義・演習
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 ショップ会計の基礎知識		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	6月～12月	時間数	60	単位数	2
授業概要	店舗運営に必要な販売事務や計数管理の基礎を知ることが、経営者のみでなくスタッフにも必要である。簿記の基本を理解するとともに年末調整の方法なども学ぶ。	到達目標	決算書を読む力を身に付け、原価意識や利益獲得への意識を高めることが目標である。		
担当教員プロフィール	北田久雄 大手量販店の社員への社員教育や販売士資格取得指導など、販売士の育成指導に40年ちかくのキャリアを持つ。販売事務・計数管理の基礎を花き園芸販売の小売業務に置き換え、初心者にもわかりやすく解説・指導する。				
テキスト・教材	自作プリント 電卓				
成績評価方法	筆記試験70% レポート0% 実技0% 発表10% その他(出席率・授業態度など)20%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	簿記の基本知識 財政状態を示す報告書	簿記の流れ 資産・負債・純資産(資本)の増減と純資産	講義
2	経営成績を明らかにする書類 取引と勘定科目	収益・費用の発生と純損益 簿記の5要素	講義
3	仕訳と転記 仕訳帳と総勘定元帳	仕訳のルールと転記 勘定口座への記入	講義
4	商品の売買 現金	仕入・売上の記帳 帳簿上の現金・現金過不足	講義
5	当座預金 小口現金	小切手と手形 小口現金	講義
6	有価証券と固定資産 その他の日常の取引Ⅰ	有価証券の購入と売却 未収入金・未払金、貸付金・借入金	講義
7	その他の日常の取引Ⅱ その他の日常の取引Ⅲ	仮払金、仮受金、立替金・預り金、商品券 その他の収益・費用、資本金・引出金	講義
8	中間テスト	中間テスト 第1回～第7回 学習範囲	講義
9	伝票会計 仕訳日計表	入金伝票、出金伝票、振替伝票の処理 伝票に基づく仕訳日計表の作成	講義
10	主要簿への記入 補助簿への記入Ⅰ	仕訳帳、総勘定元帳 現金出納帳、当座預金出納帳、小口現金出納帳	講義
11	補助簿への記入Ⅱ 試算表	仕入帳、売上帳、掛金元帳、商品有高帳の作成 合計試算表、残高試算表、合計残高試算表の作成	講義
12	決算手続Ⅰ 決算手続Ⅱ	精算表の作成 決算整理事項	講義
13	決算手続Ⅲ 決算手続Ⅳ	決算整理事項 財務諸表(貸付対照表・損益計算書)の作成	講義
14	税金 重要な仕訳	租税公課(税の種類と内容) 簿記講座で学習した重要な仕訳	講義
15	期末テスト	期末テスト 第9回～第14回 学習範囲	講義
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	選択 ガーデンデザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	9月～1月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	いろいろなタイプのガーデンスタイルを知り、そのデザイン法、図面の描き方、施工法、メンテナンス法などを理解する。	到達目標	オリジナルガーデンデザインの作成 平面図、アクソメ、見積書の作成法を学び、完成を目指す。		
担当教員 プロフィール	鈴木靖子 元大手園芸用薬品類製造販売企業勤務。現在はフリーランスのグリーンアドバイザー・ガーデンデザイナーとして、一般園芸愛好家への園芸指導や個人宅のガーデン施工を行っている。その実績をもとに、ガーデン設計・図面の書き方のノウハウについて指導する。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技90% 発表10% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ガーデンデザインの基本	いろいろなガーデン様式を知る	講義
2	ガーデニングに必要な植物と資材	ガーデン資材・植物の設置と施工法	講義
3	平面図の描き方	平面図の作成	講義・演習
4	アクソメの描き方①	アクソメの作成	講義・演習
5	アクソメの描き方②	アクソメの作成	講義・演習
6	ガーデンのカラーコーディネート	植栽と構造物のカラーリング	講義・演習
7	平面図の彩色	マーカーを使用した彩色	講義・演習
8	パースの彩色	マーカーを使用した彩色	講義・演習
9	積算と見積書の作成	植栽と資材類のリストアップと見積書の作成	講義・演習
10	プレゼンテーションボードの作成	①サンプルガーデンの平面図・アクソメ・見積書の作成	講義・演習
11	プレゼンテーションボードの作成	②サンプルガーデンの平面図・アクソメ・見積書の作成	講義・演習
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 ガーデニング 園芸実習		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 ハーブの利用		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	5月～6月	時間数	16	単位数	0.5
授業概要	ハーブが古代から現代まで様々な時代背景の中でどのように利用され人と関わってきたかを知り、現代の生活に合った利用法を習得する。栽培、料理、健康、美容、クラフトなどの楽しみを体験する。	到達目標	基本のハーブを栽培して利用する方法を身に付ける。ハーブとは何かを自分なりの考え方で説明できるようにする。		
担当教員プロフィール	右京裕子 NHK学園ハーブ講座講師。 暮らしの中でのハーブの利用について、自らの体験をもとに演習を交え分かりやすく解説。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技50% 発表0% その他(出席率・授業態度など)50%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	ハーブ概論・歴史	ハーブの語源、特徴、利用法などの概論。学名の基本古代から現代までの人との関わりに触れる。	講義
2	基本のハーブを知る	基本のハーブ(パセリ、セージ、ローズマリー、タイム)の秘密と栽培と利用法	講義 演習
3	栽培の基礎	ハーブの原産地と種類別育て方のポイントを理解 土作り、育て方、繁殖法、コンパニオンプランツの考え方	講義
4	料理に利用する	料理に活かしたいハーブとスパイスの利用法 用途別のハーブ・スパイスの利用法やミックスハーブ	講義 演習
5	健康に活かす	ハーブ成分の有効な抽出方法。浸剤、煎剤、浸出油、チンキ剤、湿布剤の基本。ハーブティーの飲み方とブレンド。	講義
6	美容への応用	美容への応用方法や利用したいハーブの使い方。 アロマセラピーと精油の基礎知識	講義 演習
7	暮らしを豊かにするハーブクラフト	ポプリ、クラフトの楽しみ方と利用法。ポプリの種類、リース、ポマンダー、スパイスクラフト、染色などの紹介。	講義
8	クラフト作りの楽しみ ティーパーティー	クラフト作品制作 ハーブティー試飲	演習
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 グリーンデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 1回(1コマ)90分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 盆栽・山野草の楽しみ方		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	10月	時間数	16	単位数	0.5
授業概要	「花と緑の商品知識」で学んだ基礎知識を発展させて鑑賞から盆栽づくりまで、そのポイントと具体的な技術について講義と実習を行う。	到達目標	盆栽に使われる植物の種類と、それぞれの特性・鑑賞ポイントを理解することを、目標とする。		
担当教員 プロフィール	元高木伝統園芸文化振興財団学芸員。 山本裕隆 自然環境知識や盆栽技術を生かした庭園づくりを行う造園業を営む。 そのかたわら市民団体の自然観察会の講師も務める。				
テキスト・教材	「これから始める山野草」(柘の葉書房) 自作プリント ビデオ				
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技85% 発表0% その他(出席率・授業態度など)15%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	盆栽・山野草の基礎知識	日本文化と盆栽・山野草 盆栽の歴史・変遷 鑑賞・制作・管理のポイントなど	講義
2	見学	業態・制作現場の実態視察(春花園BONSAI美術館)	見学
3	植物材料について 作業説明	基本的性質・生育環境解説 演習に向けて作業解説	講義
4	盆栽作品作り	1人1作品制作 鉢合わせ、植替え、剪定、針金矯正、栽培管理 発表	演習
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 花と緑の商品知識	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	選択 ボタニカルアート I		履修区分	必修	選択
受講対象	全学年 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	8月	時間数	12		単位数 0.4
授業概要	ボタニカルアートの制作	到達目標	植物をよく観察し、スケッチ・転写を経て透明水彩絵の具による彩色を行い、作品を仕上げる。		
担当教員プロフィール	神利子 植物画家。NHK文化センター講師、産経学園講師。ボタニカルアートの細密で美しく繊細な中に宿る生命力と自然がもたらす芸術、そして何より描く楽しさを知ってもらうため20年前より各所で指導を開始。指導と並行し毎年、銀座で展覧会を開催するなど精力的に活動中。				
テキスト・教材	透明水彩絵の具 画材 ほか				
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	サンダーソニアを描く	ボタニカルアートの説明 用具の説明 スケッチ 転写	講義・演習
2	サンダーソニアを描く	彩色の方法	演習
3	サンダーソニアを描く	彩色と仕上げ 合評会	演習
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 ポタニカルアートⅡ		履修区分	必修	選択
受講対象	全学年 Iを受講済みの学生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	1月	時間数	12		単位数 0.4
授業概要	ポタニカルアートの制作 ポタニカルアートⅠを受講済みなのでより正確に描く。	到達目標	植物をよく観察し、スケッチ・転写を経て透明水彩絵の具による彩色を行い、作品を仕上げ額装して完成させる。		
担当教員 プロフィール	神利子 植物画家。NHK文化センター講師、産経学園講師。ポタニカルアートの細密で美しく繊細な中に宿る生命力と自然がもたらす芸術、そして何より描く楽しさを知ってもらうため20年前より各所で指導を開始。指導と並行し毎年、銀座で展覧会を開催するなど精力的に活動中。				
テキスト・教材	透明水彩絵の具 画材 ほか				
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他(出席率・授業態度など)0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	デンファレを描く	スケッチ 転写	演習
2	デンファレを描く	彩色の方法	演習
3	デンファレを描く	彩色と仕上げ 合評会	演習
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	選択 植物染色			履修区分	必修	選択
受講対象	全学年 全コース		授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	12月		時間数	8		単位数 0.3
授業概要	植物を染料として用い染色を行う。さらに、2種類の媒染剤を使用することでグラデーションに染め上げる。植物が着色剤としても使うことができることを学習する。	到達目標	絹のスカーフまたはストールを染色・媒染・模様付けし、グラデーションに染め上げる。			
担当教員プロフィール	菅原奈美 女子美術大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程修了。 植物染色、色彩学を専門とし、天然染料の媒染剤の違いによる染め色の傾向などを研究。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	植物染色とは	植物染色をする上での基礎知識について学ぶ。	講義
2	先媒染および染料の抽出について	グループごとに染色の実習を行う。 繊維の前処理・先媒染・染料の抽出を行う。	演習
3	防染および染色について	防染の手順を学び、スカーフ・ストールに模様づけする。 スカーフ・ストールを染色する。	演習
4	後媒染および繊維の後処理	後媒染を行い、媒染剤の違いによる色の変化を学ぶ。 繊維の後処理を行い、作品を完成させる。	演習
5			
6			
7		*受講者が多数の意場合は12/8（金）も開講し、 2グループに分ける	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回(1コマ)90分授業を連続して行う。

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 植物写真の撮影技術 I		履修区分	必修	選択	
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～7月	時間数	12	単位数	0.4	
授業概要	基本的なカメラの使い方、植物写真の撮り方、パソコンに写真を取り込んでのレポート作成の基礎を学ぶ。	到達目標	植物写真を撮るための基礎技術、他者にも見やすいレポートの作成方法の習得を目標とする。			
担当教員	野部茜 本校卒業生。高校から写真部に所属し、写真撮影技術の基礎を習得している。また、理系大学に通いパソコンの基礎技術も心得ている。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	筆記試験0% レポート50% 実技30% 発表0% その他(出席率・授業態度など)20%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	写真の技術と撮り方	カメラ機能の説明	講義
2	写真の技術と撮り方	スマートフォンと一眼カメラのそれぞれの利点	講義
3	室内での撮影演習	室内での撮り方、植物を引き立てる備品の使い方	演習
4	室外での撮影演習	室外での撮り方、植栽の取り方	演習
5	レポート作成	パソコン、スマートフォンでのレポート作成方法	講義
6	レポート作成	パソコン、スマートフォンでのレポート作成方法	講義
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回(1コマ)90分授業

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	植物写真の撮影技術Ⅱ		履修区分	必修	選択	
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	12月～2月	時間数	8		単位数	0.3
授業概要	良質な写真は良質なコミュニケーションを生むための道具であることを知り、これからの時代の写真術を学ぶ。写真を撮ることで、必要なイメージをすることを考え、見る人へ伝わる写真の撮り方の技術を学ぶ。	到達目標	SNS用など仕事の中で花の写真を撮るとき、見る相手のことを考えて花の写真を取れる基礎技術の習得を目標とする。			
担当教員	御木茂則 映像カメラマンとして映画の撮影を本職とする傍ら、自然風景や動植物を被写体とした写真撮影にも取り組み、個展を開くなど精力的に活動している。カメラの機能を生かした撮影方法や、効果的な演出方法など、SNS全盛の時代に合った撮影技術を実践を通じて行う。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	写真の技術と撮り方の講義	取り方の違いによる被写体の見え方の違いの実演 スマホと一眼カメラそれぞれの利点 照明の実演	講義・演習
2	スマホのカメラの使い方 撮影演習	スマホのカメラを使って自分が撮りたい写真をイメージして撮る。	講義・演習
3	背景の活かし方 撮影演習	クライアントからの撮ってほしい花の写真を想定したヒアリング、写真撮影、クライアントチェック	演習
4	撮った写真の総括 アドバイス	写真を撮る上で、大切なことの確認 撮った写真の意図、イメージを撮るための工夫をプレゼン	講義・演習
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワービジネス	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 1回(1コマ)90分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 四季のコンテナガーデン		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	4月～1月	時間数	16時間		単位数
授業概要	植物の生育と育てる王道を特化し、トレンドとなりうるコンテナガーデンを作成し、環境と四季の季節感をアピールする。国内外のNEWアイテムも導入する。	到達目標	メンテナンスも含め、飾るといふこと、商品としての完成道を指導。 併せて、植物の基礎知識を土台として土壌・肥料なども含め、応用性の強化を目指す。		
担当教員 プロフィール	鈴木路子 大手種苗会社で店頭販売、外商、グリーンコーディネーター、フラワーデザイン、フラワービジネスの講師とデモンストレーションを経験後フリーコーディネーターとして独立しテクノ・ホルティ園芸専門学校をはじめ多数の学校で講師として後進の指導にあたり、グリーンコーディネーターとしても業界の第一線で活躍中。(社)日本家庭園芸普及協会 グリーンアドバイザー 認定講習講師。ユークヤン ガーデニング講座講師 著書は、「四季の花辞典」など多数執筆。				
テキスト・教材					
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技80% 発表20% その他(出席率・授業態度など)0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	ジャストタイミングな品種と暑さ対策と華やかさのあるギャザリング	オーバルコンテナを使用 日照時間を重視 草花・ハーブ類使用	
2	秋というシーズンを表現する方法 カラーリングの取り合わせ	ウォールバスケット使用 シェードプランツや球根等を含め、育てるコンテナガーデン	
3	クリスマスや迎春に向かったの耐寒性や飾る場所など環境を考える	イベントアピール効果 オーナメンタルツリーやオーナメントを使用し、季節感を指導	
4	耐寒性植物を使用 冬～春へのコーディネート	器と植物のコラボレーション 成長を含めメンテナンスの強化と長く飾ることのできるアイテムを指導	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	花と緑の商品知識 グリーンデザイン 園芸実習	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 メイクアップレッスン			履修区分	必修	選択
受講対象	1学年 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年生 4月/1年生 2月	時間数	4		単位数	0.15
授業概要	就職活動に際し面接は第一印象が大事である。また、接客業として身だしなみを整えることは必須である。好感をもたれる身だしなみの整え方をプロの美容部員から教わる。	到達目標	就職活動のみならず、接客業に就く者として必要な身だしなみの整え方の基本を身に付けることが目標である。			
担当教員 プロフィール	資生堂 ジャパン(株) 首都圏支社 講師 日本を代表する化粧品会社として、長年にわたり「身だしなみ」としての化粧法を新社会人に向けて指導する活動を続けてきた実績がある。就職活動中の学生や新社会人に向けたプログラムから、社会人としての心構えも合わせて指導する。					
テキスト・教材	自社テキスト					
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技50% 発表0% その他(出席率・授業態度など)50%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	肌の整え方・メイクの基本 身だしなみの整え方	自分を表現する外見は、第一印象を決める大きな要素。理想の第一印象に近づく為のステップを学ぶ。	講義・演習
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 1回(2コマ)180分授業

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 生花祭壇の制作現場		履修区分	必修	選択	
受講対象	全学年 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	8月	時間数	4	単位数	0.15	
授業概要	近年葬儀の装飾として需要が増えている生花祭壇の制作現場を見学してその制作過程を学び、葬儀の仕事について理解を深める。	到達目標	葬儀に関する基本知識や、生花祭壇の制作現場を取り巻く環境や仕事内容を理解すること。			
担当教員プロフィール	㈱ユー花園 業務部社員 創業から半世紀、全国の葬儀花のノウハウを習得し更に世界のフラワーデザインを取り入れ、首都圏における葬儀装飾花の様々なスタイルにあわせたオリジナルデザインを提案する㈱ユー花園の現場で実務を経験してきた中堅社員による、フューネラル業界の現状とトレンドを見学を交えながら解説。					
テキスト・教材	自社プリント					
成績評価方法	筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他(出席率・授業態度など)0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	生花祭壇制作の仕事について 制作現場見学	近年におけるフューネラル業界の動向 花祭壇制作に関わる一連の仕事の流れ 質疑応答	講義 見学
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回(2コマ)180分授業。

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 プライダグ装花とテーブルマナー		履修区分	必修	選択
受講対象	全学年 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	8月	時間数	6	単位数	0.2
授業概要	社会人として必要なマナーの一つであるテーブルマナーをプロの先生の指導のもとに学ぶ。また、披露宴会場の見学とプライダグ装花の仕事についても見識を深める。	到達目標	社会人として恥ずかしくないテーブルマナーの知識を身に付けること、プライダグフラワーの仕事について理解を深めることを目標とする。		
担当教員 プロフィール	明治記念館 職員 明治記念館宴会サービス部に所属する社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会認定のベテラン講師が、社会人として恥ずかしくない食事の作法を実践的に指導。また、商品開発部装飾課の職員による案内で、会場と制作室の見学を行い、パーティー・プライダグ装花の現状と仕事の流れを解説する。				
テキスト・教材	自社制作によるリーフレット				
成績評価方法	筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他(出席率・授業態度など)0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数640点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	テーブルマナー講習	コース料理をいただきながら、ユーモアを交えた講義で楽しくマナーやエチケットを習得	講義・演習
2	披露宴会場見学	館内の披露宴会場と装花室を見学	講義・見学
3	装花室見学	装花室所属の卒業生によるプライダグの仕事の説明	講義・見学
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回(1コマ)90分授業を連続して行う。

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 国内特別研修			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	10月	時間数	30		単位数	1
授業概要	長崎「ハウステンボス」で行われる「世界フラワーガーデンショー」のガイドツアーと作品見学を中心に、空間装飾・ガーデンデザインの見識を深める	到達目標	プロのデザイナーによるフラワー装飾やガーデンデザインの数々より、作品制作のアイデアや様々な装飾・植栽テクニックを学ぶ			
担当教員プロフィール	本校 常勤職員 フラワーデザイン・グリーンデザインの基礎を学び、資格を取得していることから、フラワーガーデンショーの作品の見どころなど解説したり、グラバー園など見学先で植物に関する解説を行い、また、引率者として旅行中の安全を図る。					
テキスト・教材						
成績評価方法	筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他(出席率・授業態度など)0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	長崎ハウステンボス「世界フラワーガーデンショー」見学	専任ガイドの解説で、プロがデザインしたガーデンの数々を見学	講義・見学
2	長崎ハウステンボス「世界フラワーガーデンショー」見学	フラワーアートコンペティションの作品見学	講義・見学
3	長崎市内観光	グラバー邸や大浦天主堂などを巡り、長崎の歴史を学ぶ	見学
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 1回を1日(10時間)と換算する

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	選択 庭園・植物園見学			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	11月～翌々年3月	時間数	12		単位数	0.4
授業概要	花の文化やガーデニングで学んだ知識をもとに、都内近郊の庭園や植物園を見学し、植物や植栽、庭園様式について学ぶ。	到達目標	四季折々の庭園を彩る植物を観察し、知識を深めることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	本校 常勤職員 フラワーデザイン・グリーンデザインの基礎を学び、資格を取得。その知識を持って、都内近郊の庭園や植物園の見どころなど解説する。					
テキスト・教材						
成績評価方法	筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他(出席率・授業態度など)0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	見学①	都内近郊の庭園・植物園を1ヶ所見学する レポート提出	見学
2	見学②	都内近郊の庭園・植物園を1ヶ所見学する レポート提出	見学
3	見学③	都内近郊の庭園・植物園を1ヶ所見学する レポート提出	見学
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 3か所必須、4か所目からは1ヶ所ごとに2コマ(4時間)ずつ取得時数がプラスされる。

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	選択 イベント見学			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	12		単位数	0.4
授業概要	花と緑に関わるイベントを見学し、園芸・花業界のトレンドを学ぶ。	到達目標	様々な作品・商品を見ることにより、自らの知識・経験の幅を広げることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	本校 常勤職員 フラワーデザイン・グリーンデザインの基礎を学び、資格を取得。その知識を持って、都内近郊で行われる花と緑に関わるイベントの見どころなど解説する。					
テキスト・教材						
成績評価方法	筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	見学①	花と緑に関わるイベントを1ヶ所見学する レポート提出	見学
2	見学②	花と緑に関わるイベントを1ヶ所見学する レポート提出	見学
3	見学③	花と緑に関わるイベントを1ヶ所見学する レポート提出	見学
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 3か所必須、4か所目からは1ヶ所ごとに2コマ(4時間)ずつ取得時数がプラスされる。